

2019 年度第 8 回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会 議事要旨

1. 日 時：2019 年 6 月 4 日（火）： 13:00－14:55

2. 場 所：国立情報学研究所 20 階 実習室

3. 議事：

1. メール審議結果について (資料 1)
2. 2018 年度決算案及び監査結果について (資料 2)
3. 2019 年度会長・監事・運営委員会・作業部会・事務局の体制について (資料 3)
4. 2019 年度作業部会の予算及び活動計画について (資料 4)
5. 第 21 回図書館総合展フォーラム出展について (資料 5)
6. 2019 年度海外派遣計画について
7. 2019 年度 COAR 加盟に係る名義使用について (資料 6)
8. 2019 年度総会日程（2020-03-17）について
9. JPCOAR 会員機関参加状況報告 (資料 7)
10. その他
 - ・ 翻訳書『知識解縛』の出版について (資料 8)
 - ・ JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度・英訳 (資料 9)
 - ・ RDM トレーニングツールの機関運用の試行について (資料 10)
 - ・ IRDB から CORE へのデータ提供について (資料 11)
 - ・ JAIRO Cloud メタデータ自動入力機能検証プロジェクト報告書 (資料 12)
 - ・ JPCOAR からの委員・講師等の推薦 (資料 13)
 - ・ 次期 JAIRO Cloud 移行について (資料 14)

4. 出席者：

結城 憲司	北海道大学附属図書館研究支援課長
鈴木 秀樹	筑波大学学術情報部長
江川 和子	東京大学附属図書館事務部長
高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長
岡部 幸祐※	新潟大学学術情報部長
杉田 茂樹※	上越教育大学学術情報課長
尾崎 文代	岡山大学附属図書館情報管理課長
山本 和雄	鹿児島大学学術情報部長
上田 理子※	札幌市立大学地域連携課長
折戸 晶子	明治大学図書館総務事務長
藤原 芳行	立教大学図書館事務部長
鈴木 恵津子	東京家政大学図書館事務長
林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教
小野 亘	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課長

※岡部委員、杉田委員、上田委員はTV会議参加

(監事)

お茶の水女子大学	図書・情報課長	山本 淳一
首都大学東京	管理部学術情報基盤センター事務室事務長	高橋 一広

(陪席)

木下 聡	国立情報学研究所学術基盤推進部次長
平田 義郎	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室長
新妻 聡	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長
林 豊	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長

(事務局)

木村 優	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究成果整備チーム (機関リポジトリ担当)
丸山 寛	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究成果整備チーム (機関リポジトリ担当)
杉山 美紀	国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室

(欠席)

佐藤 翔	同志社大学免許資格課程センター准教授
------	--------------------

<配付資料>

第 8 回オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会出席者名簿

資料 1	メール審議結果について (報告)
資料 2-1	2018 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)決算 (案)
資料 2-2	2018 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)監査報告書 (案)
資料 3-1	2019 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会会長・監事・運営委員会 名簿
資料 3-2	2019 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会作業部会員名簿
資料 3-3	JPCOAR 事務局体制の整備について (案)
資料 3-4	JPCOAR 事務手続きについて
資料 4-1	2019 年度作業部会活動計画及び予算 (案)
資料 4-2	2019 年度オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)予算
資料 4-3	2019 年度 JPCOAR 活動スケジュール (案)
資料 4-4	2019 年度機関リポジトリ新任担当者研修実施要領 (案)
資料 4-5	国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム 2019「駆け込み！ DSpace 等から JAIRO Cloud (現 WEKO) への移行相談会」開催概要
資料 5	第 21 回図書館総合展フォーラム出展について (案)
資料 6	2019 年度 COAR 加盟に係る名義使用について
資料 7	JPCOAR 会員機関参加状況(2019-05-10 現在)
資料 8	翻訳書『知識解縛』表紙等
資料 9	JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度・英訳 (案)
資料 10	新学習管理システム (仮称「学認 LMS」) による研究データ管理に關する オンライン講座の試験運用について (案)
資料 11	IRDB から CORE へのデータ提供について

資料 1 2	JAIRO Cloud メタデータ自動入力機能検証プロジェクト報告書（案）
資料 1 3	JPCOAR からの委員・講師等の推薦
資料 1 4	次期 JAIR0 Cloud

5. 議事

議事に先立ち、江川委員長から、2019年度の新委員として、上田委員、藤原委員及び鈴木恵津子委員の紹介があり、岡部委員、杉田委員及び上田委員がTV会議で出席、佐藤委員が欠席、監事その他の陪席者の紹介があった。また、事務局に新たに杉山氏が加わった旨の報告があった。

委員長から、第6回及び第7回運営委員会の議事要旨については、すでに運営委員会での確認を経て、JPCOAR広報サイトに掲載されている旨の報告があった。

（1）メール審議結果について（報告）

委員長から、資料1に基づき、2018年度総会以降の臨時総会審議1件、運営委員会審議2件及びJPCOAR入会/脱退申請の承認を行った旨の報告があった。

（2）2018 年度決算案及び監査結果について（協議）

総務・財務担当の小野委員から、資料 2-1 に基づき、2018 年度決算案の説明があり、収支額は一致し、国立情報学研究所(NII)からの支援を受けることはなかった旨補足があった。

監事・お茶の水女子大学・山本課長から、2019年5月20日に監査を実施し、資料2-2の書面にあるとおり、正確かつ適正に執行されていることを確認した旨の報告があった。

引き続き、監事・お茶の水女子大学・山本課長から、支出では旅費が目立つのは事実であるが、その他の部分では計上されていないNIIからの支援も大きく、全体の活動のなかで旅費の占める割合が一概に大きすぎるとは言えない。ただし、旅費の節減に努めていただくなかで、事務協力費の増額、作業部会の見直しなどの取り組みも進められており、その結果を次回以降の監査で確認していくこととしたいとの発言があった。

監事・首都大学東京・高橋事務長から、会費収入に基づく支出のなかで適正な執行と判断している。旅費が大きな割合は示しているが、全国に広がる会員と作業部会員の活動を支えるものとして必要と考える。引き続きTV会議の活用などにより支出を抑制しつつ他の活動を充実する観点も必要であり、適切な会計処理に努めていただきたいとの発言があった。

委員長から、監事への謝意の表明があり、今後、監事を代表する館長の確認を経て監査報告書を提出いただき、決算案と併せて臨時総会（メール審議）に付すこととしたい旨提案があり、承認された。

（3）2019 年度会長・監事・運営委員会・作業部会・事務局の体制について（報告・協議）

委員長から、資料3-1、3-2に基づき、2019年度JPCOARの体制について報告があり、確認された。小野委員から、資料3-3に基づき、JPCOAR事務局体制の整備における課題として、会員からの事務局出向者が得られていないことの説明があり、種々意見交換が行われた。委員長から、事務局員の会員からの出向者確保の取り組みに関して今後も継続して検討していきたいとの発言があり、了承された。

小野委員から、資料3-4に基づき、事務局担当の事務手続きについて報告があり、江川委員長から、事務作業の省力化にご協力いただきたい旨発言があった。

(4) 2019 年度作業部会の予算及び活動計画について (報告・協議)

各作業部会主査から、資料4-1に基づき、2019年度の各作業部会の活動計画及び所要経費の説明と高橋主査からの資料の一部訂正があり、訂正を含めて了解されたのち、資料4-2の支出項目中の「5-1 作業部会活動費」の部会配分について承認された。

委員長から資料4-3について説明があり、2019年度の本活動スケジュールを確認しながら事業を進めていきたいとの補足があった。

人材育成作業部会主査である杉田委員から、資料4-4に基づき、2019年度新任担当者研修の実施提案があり、承認された。また併せて、NIIオープンフォーラムでの移行相談会の開催報告があり、了承された。

(5) 第 21 回図書館総合展フォーラム出展について (報告・協議)

山本委員から、2018年度に引き続き、図書館総合展事務局とフォーラム出展を共催し、現在、開催日程を調整中である旨報告があった。引き続き、コミュニティ強化・支援作業部会主査の尾崎委員から、各作業部会から部会員1名を推薦いただき、フォーラムの企画検討を進めたいとの提案があり、了承された。また、小野委員から、NIIを含めた他の出展フォーラムとのテーマ等の調整を進めていきたい旨の補足があった。

(6) 2019 年度海外派遣計画について (報告・協議)

国際担当の山本委員から、COAR総会2019に1名派遣済みであることの報告があり、今後の派遣候補として、Asia OA Meeting が確認され、予算措置としては、新規入会による会費増による補正予算を含めて検討することとした。

なお、高橋委員から、開催予定の国際会議等については、JPCOAR全体のBacklogに掲載し、情報共有していく旨の補足があった。

(7) 2019 年度 COAR 加盟に係る名義使用について (協議)

山本委員から、COAR加盟の経緯について説明があり、運営委員等の入替に伴う加盟館の登録について提案があり、承認された。

(8) 2019 年度総会日程 (2020-03-17) について (報告)

委員長から、2019 年度総会の開催日程の確認のお願いがあり、さらに 2020 年度総会に向けては関係者との調整を進めていきたいとの発言があった。

(9) JPCOAR 会員機関参加状況報告 (報告)

事務局から、資料 7 に基づき、2019 年 5 月 10 日付けの参加状況及び 5 月入会申込 (4 機関) の報告があった。

(10) その他

- ・ 翻訳書『知識解縛』の出版について
岡部委員から、資料 8 に基づき説明があり、同書の JPCOAR による出版が了承された。
- ・ JPCOAR オープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021 年度・英訳
岡部委員から、資料 9 に基づき説明があり、英訳の公開について了承された。なお、訳文について意見等があれば、岡部委員に申し出ることとなった。

- ・ RDM トレーニングツールの機関運用の試行について
小野委員から、資料 10 に基づき説明があり、試験運用に協力することが了承された。
- ・ IRDB から CORE へのデータ提供について
小野委員から、資料 11 に基づき説明があり、データ提供について確認した。
- ・ JAIRO Cloud メタデータ自動入力機能検証プロジェクト報告書
鈴木秀樹委員から、資料 12 に基づき説明があり、プロジェクト報告として公開する旨の提案があり、了承された。
- ・ JPCOAR からの委員・講師等の推薦
事務局から、資料 13 に基づき報告があり、小野委員から補足説明があった。
- ・ 次期 JAIRO Cloud 移行について
林委員から、資料 14 に基づき報告があり、小野委員から、今後会員への正式アナウンスの準備を進めるとの補足があった。
- ・ 私立大学図書館協会総会での広報活動について
尾崎委員から、8 月 29～30 日開催予定の私立大学図書館協会総会（帝京大学（八王子キャンパス））で広報活動の一環としてパンフレットを配布することを計画しており、折戸委員と調整し、今後進めていきたいとの発言があり、了承された。

以上